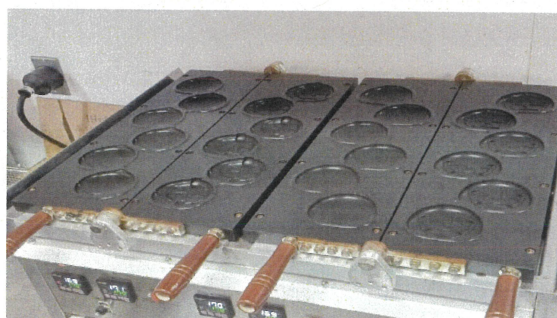


業務改善助成金導入事例（その他の小売業）

業務改善助成金・導入前

従来、大判焼きを作る際は4カップフライパンで製造していたが、従業員1名がガスコンロ前に付きっきりで火加減の調整を行う必要があった。また、1度に4個しか製造することができず、大口の顧客に販売をすることが出来なかった。

導入後



【大判焼き機】

【大内人形焼き】

導入後・生産性向上の効果

- 一度に12個、3倍の大判焼きを製造可能となったため、大口の顧客にも販売が可能となり、生産性向上が実現した。
- 焼き上がりを自動調整することが可能となり、導入前のように従業員がつきっきりで作業する必要がなくなった。また、経験年数を問わず、すべての従業員が製造することができる環境が整えられた。
- 「大内人形」をモチーフにした型のデザインを導入したことで、従来の大判焼きから「大内人形焼き」という山口ならではの新生名物が誕生した。

【事業場の概要】

長州物産株式会社
(山口市、従業員数 26名)

【導入内容】 大判焼き機及び備品一式の導入

【改善に要した費用】 1,770,000円

【助成金額】 1,593,000円

【申請コース】 45円コース

